

景況調査（平成 30 年 1 月～3 月期）の結果について

県内景況を把握するため四半期ごとに企業サイドの景況感を調査する「企業調査」と個人消費サイドの景況感を調査する「景気調査」を実施し、「景況調査」として結果をとりまとめています。

■ 企業調査

1 結果概要

(1) 今期（平成 30 年 1 月～3 月期）の県内企業の景況（前期（平成 29 年 10 月～12 月期）との比較）

- ・ 業況、生産、売上の各 DI：プラス幅が縮小した。
- ・ 経常利益 DI：プラスからマイナスに転じた。
- ・ 雇用の水準 DI：マイナス幅が縮小し不足感が弱まった。

(2) 規模別

- ・ 大企業：業況 DI はプラス幅が縮小した。
- ・ 中小企業：業況 DI はプラス幅が縮小した。

(3) 業種別

- ・ 製造業、卸売業：業況 DI はプラス幅が縮小した。
- ・ 建設業：業況 DI はプラス幅が拡大した。
- ・ 小売業、サービス業：業況 DI はマイナス幅が拡大した。

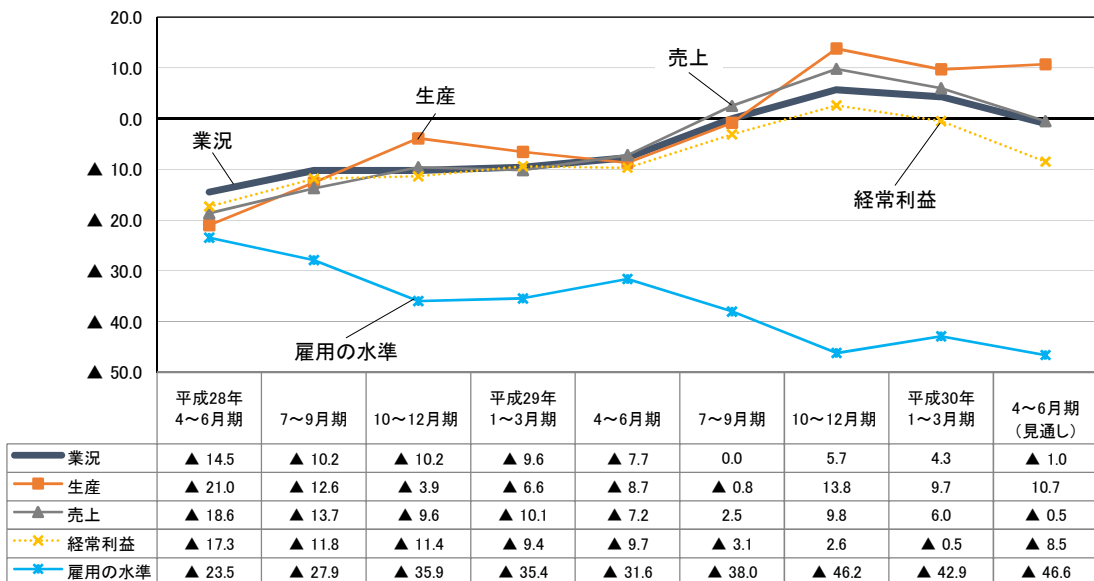
(4) 地域別

- ・ 大津地域、南部地域、甲賀地域：業況 DI はプラス幅が縮小した。
- ・ 東近江地域：業況 DI はマイナスからプラスに転じた。
- ・ 湖東地域、高島地域：業況 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ 湖北地域：業況 DI はマイナス幅が拡大した。

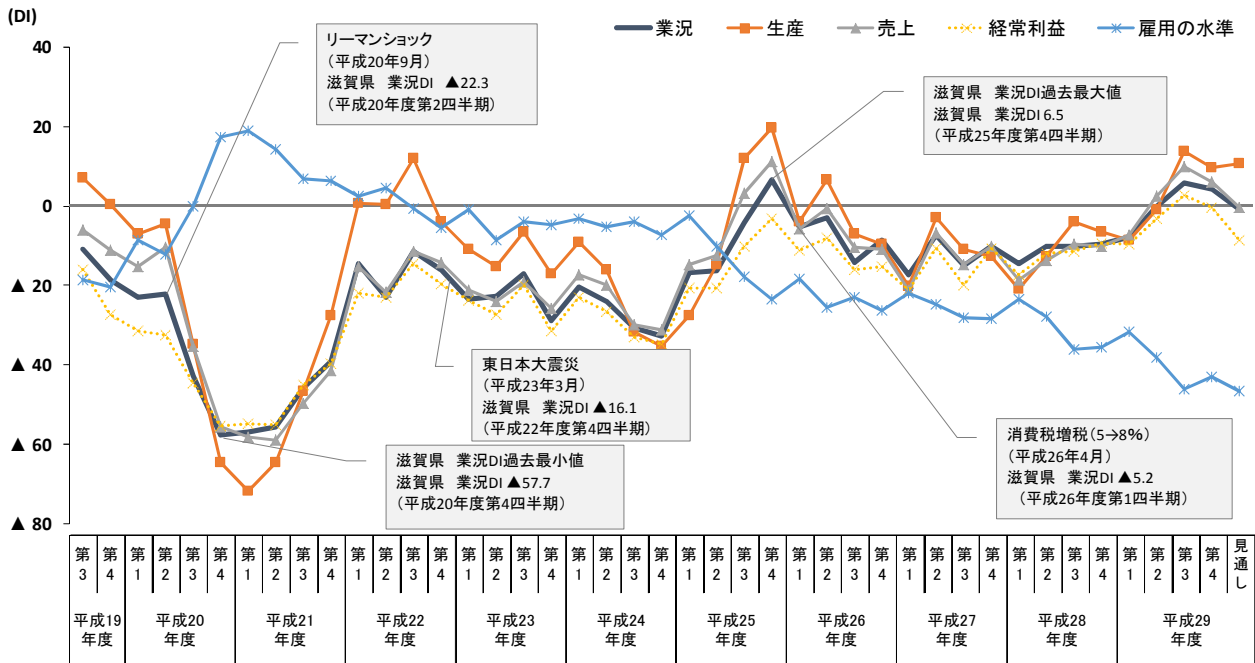
(5) 来期（平成 30 年 4 月～6 月期）の見通し

- ・ 業況、売上の各 DI：プラスからマイナスに転じる見通し。
- ・ 生産 DI：プラス幅が拡大する見通し。
- ・ 経常利益 DI：マイナス幅が拡大する見通し。
- ・ 雇用の水準 DI：マイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

各種 DI の動き（実績）と来期の見通し



DI の推移：平成 19 年度第 3 四半期～29 年度第 4 四半期



2 調査概要

- ①調査期間……平成 30 年 1 月～3 月
- ②調査客体……県内の事業所
- ③調査方法……郵送アンケートおよび訪問、電話によるヒアリング調査

※本調査での DI（ディフュージョン・インデックス）：

「増加（好転・上昇・過剰等）」と回答した事業所数の構成比から、「減少（悪化・低下・不足等）」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値。

生産 DI、売上 DI は前年同期と比較した「増加－減少」、経常利益 DI、業況 DI は前年同期と比較した「好転－悪化」、雇用の水準 DI は今期水準の「過剰－不足」の軸を用いて算出。

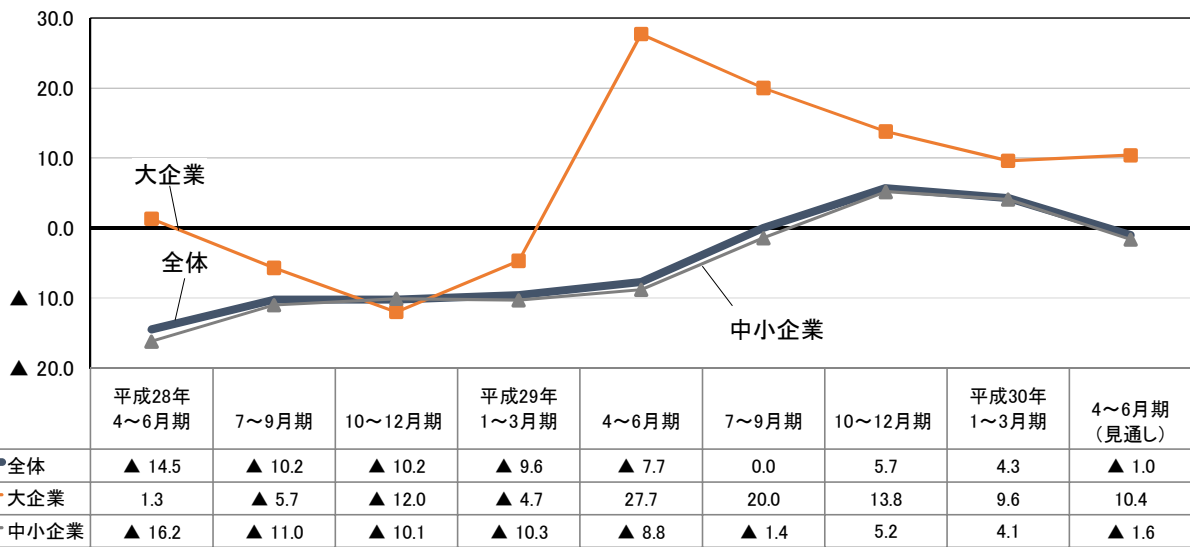
来期の見通しについては、生産 DI、売上 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「増加－減少」、経常利益 DI、業況 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「好転－悪化」、雇用の水準 DI は 3 カ月後水準の「過剰－不足」の軸を用いて算出。

④調査企業数

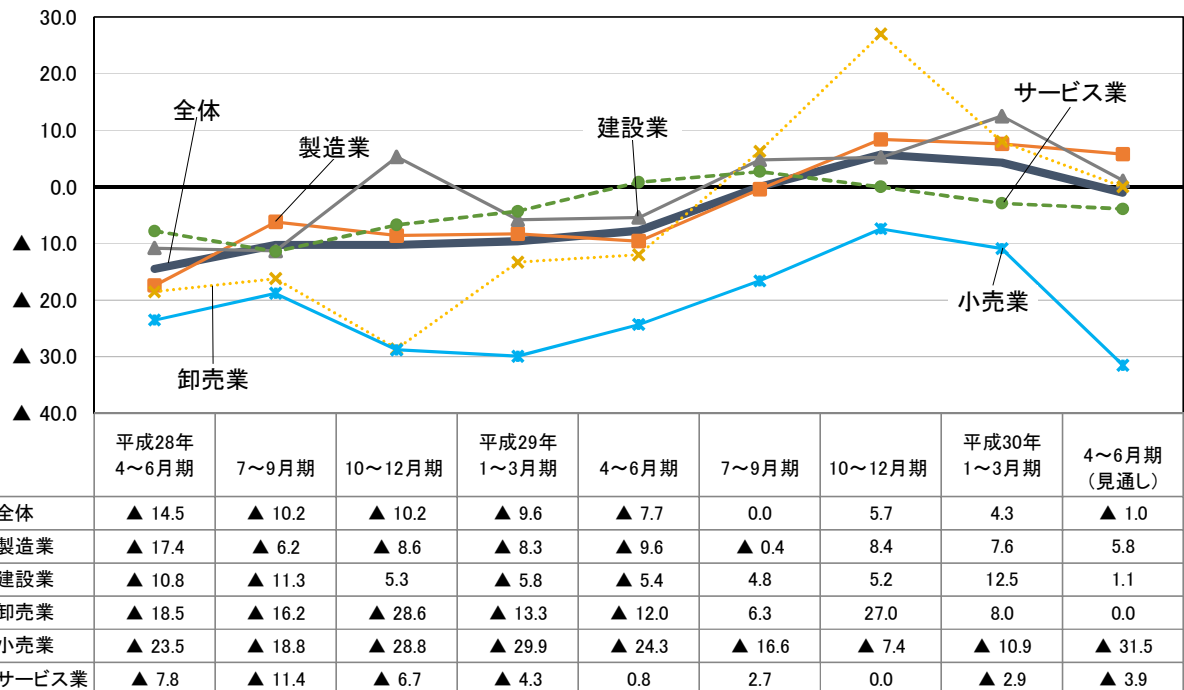
() の数字は大企業数

| | 合計 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 |
|--------|---------|---------|-------|-------|-------|--------|
| 合計 | 615(31) | 264(18) | 99(1) | 52(0) | 59(4) | 141(8) |
| 産業費別比率 | 100.0% | 42.9% | 16.1% | 8.5% | 9.6% | 22.9% |
| 大津地域 | 93(7) | 24(3) | 15(0) | 10(0) | 15(3) | 29(1) |
| 南部地域 | 154(8) | 66(6) | 24(1) | 9(0) | 11(0) | 44(1) |
| 甲賀地域 | 104(5) | 59(4) | 14(0) | 5(0) | 7(0) | 19(1) |
| 東近江地域 | 110(1) | 51(0) | 18(0) | 13(0) | 13(0) | 15(1) |
| 湖東地域 | 64(6) | 20(3) | 13(0) | 7(0) | 7(1) | 17(2) |
| 湖北地域 | 57(2) | 32(1) | 7(0) | 7(0) | 3(0) | 8(1) |
| 高島地域 | 33(2) | 12(1) | 8(0) | 1(0) | 3(0) | 9(1) |

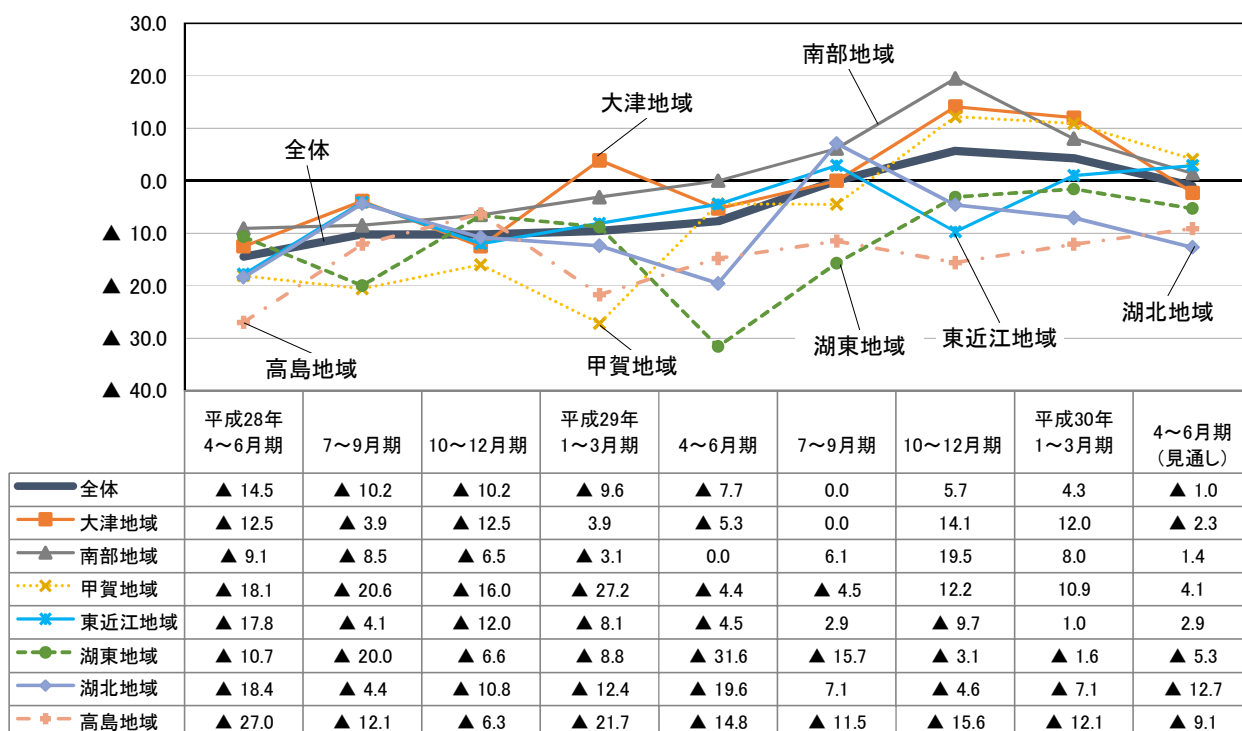
企業規模別業況の動き（実績）と来期の見通し



業種別業況の動き（実績）と来期の見通し



地域別業況の動き（実績）と来期の見通し



■ 景気調査

1 結果概要

(1) 全体の景気の水準 DI : ▲14.7(マイナス幅拡大)

<調査客体別>

- ・販売関連 DI : ▲20.7(マイナス幅縮小)
- ・サービス関連 DI : ▲34.5(マイナス幅拡大)
- ・雇用関連 DI : 33.3(プラス幅拡大)

(2) 3か月前と比較した全体の景気の方向性 DI : ▲19.0(マイナスに転じた)

<調査客体別>

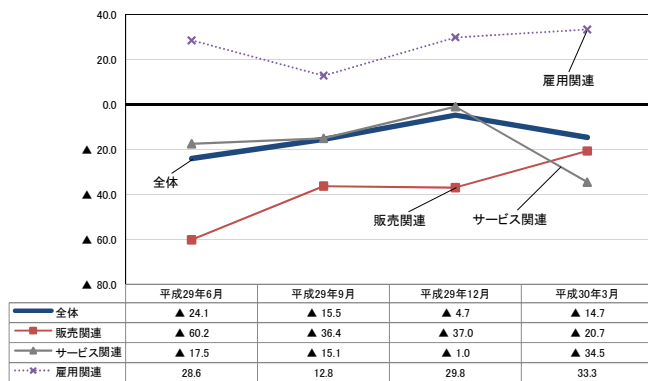
- ・販売関連 DI : ▲8.0(マイナスに転じた)
- ・サービス関連 DI : ▲39.2(マイナスに転じた)
- ・雇用関連 DI : 7.7(プラス幅が縮小)

(3) 3か月先の見通しに関する全体の景気の方向性 DI : 14.2(プラスに転じる見通し)

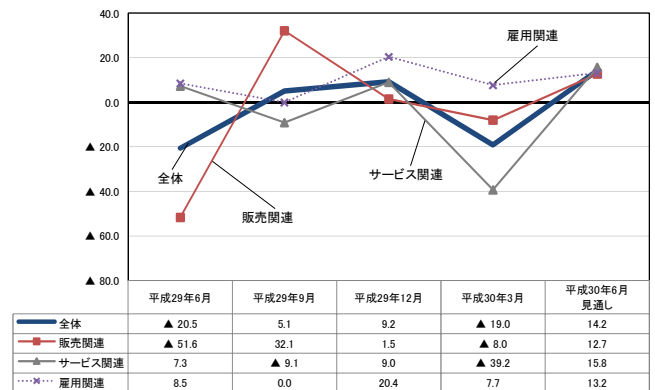
<調査客体別>

- ・販売関連 DI : 12.7(プラスに転じる見通し)
- ・サービス関連 DI : 15.8(プラスに転じる見通し)
- ・雇用関連 DI : 13.2(プラス幅拡大の見通し)

景気の水準 DI



景気の方向性 DI



2 調査概要

- ①調査期間・・・平成30年3月1日を基準日とする前後1週間
- ②調査客体・・・県内にある事業所に就業する者で、経済活動の動向を敏感に反応する現象を観察できる職種
 - <販売関連>
大型小売店、コンビニエンスストア、電気量販店、商店街などに就業する者
 - <サービス関連>
ホテル、旅館、旅行代理店、タクシー会社、カルチャー施設などに就業する者
 - <雇用関連>
公共的施設、人材派遣業に就業する者
- ③調査方法・・・郵送によるアンケート調査
- ④回収状況・・・113件

※DIの算出方法

各評価の回答数に、それぞれ以下のウェイトを乗じた数値をもとに、各評価の構成割合を出し、好転（良い、やや良い）の割合から悪化（やや悪い、悪い）の割合を差し引いて、DIを算出しています。

| 評価 | 「良い」 (あるいは「良くなっている」) | 「やや良い」 (あるいは「やや良くなっている」) | 「どちらとも言えない」 | 「やや悪い」 (あるいは「やや悪くなっている」) | 「悪い」 (あるいは「悪くなっている」) |
|------|-------------------------|-----------------------------|-------------|-----------------------------|-------------------------|
| ウェイト | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 |